

視点

「発達障害」に

ひそむ愛着障害

おかだ
たかし
岡田 尊司



発達障害と診断される子どもが急増しています。最近の調査では、児童の約5%に注意欠陥／多動性障害（ADHD）が、約1%に自閉症スペクトラムが認められています。

発達障害は、先天的な要因で起きた脳機能の障害と考えられてきました。その代表が自閉症です。ところが、1987年の診断基準の改定で、ADHDが発達障害の一つとして加えられ、そこから状況がいささか混乱し始めました。

診断基準が大幅に拡大されたことに加えて、診断概念の普及も、診断の増加をもたらしました。

しかし、やはり実質的な増加も起きているというのが大方の見方です。その原因として、環境ホルモンや重金属の影響が取りざたされましたが、確証には至っていません。

一方、自閉症スペクトラムの増加への関与がほぼ確実なのが、晩婚化の影響です。ただ、ADHDについては、むしろ母親の年齢が低いことが危険因子となり、晩婚化だけで説明がつく問題ではありません。

そんな中、注目されるようになってきたのが、虐待やネグレクトを受けたり、養育者から離されたりした子どもに発達障害と類似した状態がみられるという事実です。こうしたケースに起きているのは、実は発達障害ではなく愛着障害という状態です。

愛着障害は、養育者との安定した絆の形成に失敗したことにより、発達の遅れや特有の対人関係の問題、情緒不安定などを呈するものです。二つのタイプがあり、抑制性愛着障害は、誰にも懐こうとせず、自閉症スペクトラムに似ます。脱抑制性愛

着障害は、誰にでも見境なく甘え、活発で気まぐれで、ADHDとそっくりです。

つまり、これまで「発達障害」と診断されたものの中には、少なからず愛着障害によって生じた発達障害類似状態が混じっているということです。

1歳半で調べると、約一割の子どもが、愛着が不安定な混乱型を示します。混乱型の愛着を示す子どもは、その後、ADHDなどの行動の問題を発展させやすいのです。

たとえば、母親のうつも、子どもとの愛着を不安定にさせ、愛着障害の要因になり得ます。虐待やネグレクトは、決して「悪い」母親が行なっているのではないのです。母親たちも追い詰められやすくなっているのです。

好奇心旺盛で活動的な遺伝子タイプの子どもでは、ADHDになりやすいのですが、共感的な養育を受け、両親の関係が安定している場合には、行動上の問題は何ら増えません。この遺伝子タイプは、愛着障害のリスク遺伝子でもあります。つまり、ADHDになりやすい素因をもつ子どもでは、その腕白な特性から、どうしても否定的な扱いを受けやすく、それによって愛着が不安定になり、それが行動の問題に拍車をかけるという悪循環に陥りがちなのです。換言すれば、ADHDのかなりの部分が、実は愛着障害によって悪化しているということです。

好奇心豊かで活発なその子の特性を問題視し、否定的に扱うことで、行動上の問題がひどくなり、それを「障害」として診断するというのは、何重もの悲劇ではないでしょうか。本当に必要なのは、子どもの特性を理解するとともに、母親を支え、それによって子育てに余裕が生まれ、子どもが安心して暮らせる環境を取り戻すことにあると思います。

（精神科医）

地方交付税の経常費園児一人あたり単価 国庫補助単価と合わせて 173,700円（対前年1.0%アップ）

前年度0.5%の2倍の伸び率を確保

私立高等学校等経常費助成費補助の財政措置は、前回お知らせした国庫補助金と今回お知らせする地方交付税の二本立てになっています。全日私幼連では香川敬会長を先頭に強力な陳情活動を展開して、関係方面へ強く働きかけました。その結果、今回の大きな成果に結びつきました。地方交付税財政措置額が決まり、平成25年度の私立幼稚園関係政府予算案がすべてまとまりました。

平成25年度の私立高等学校等経常費助成費補助の幼稚園分の園児一人あたり国庫補助単価は22,800円（対前年度比0.7%アップ）。地方交付税分は前年度に比べて15,000円（対前年度比1.0%アップ）増えて、150,900円になりました。国庫補助金と地方交付税の財源措置を合わせた園児一人あたりの単価は、165,800円増（対前年度比1.0%アップ）の173,700円となりました。私立幼稚園を強力に応援してくださった、幼児教育議員連盟の国会議員の先生方をはじめ関係議員の先生方、総務省、文部科学省の皆様には心より厚く御礼申し上げます。

私立幼稚園等の経常費助成に係る財源計画

●園児等1人あたり単価

（単位：円）

区 分	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	伸び率	金額
幼稚園								
地方交付税	140,200	144,400	146,800	148,600	149,400	150,900	1.0%	1,500
国庫補助金	22,408	22,587	22,587	22,619	22,642	22,800	0.7%	158
合 計	162,608	166,987	169,387	171,219	172,042	173,700	1.0%	1,658

小学校	地方交付税	242,300	247,900	253,100	255,400	256,800	259,400	1.0%	2,600
	国庫補助金	44,072	44,116	44,116	44,487	44,531	44,843	0.7%	312
	合 計	286,372	292,016	297,216	299,887	301,331	304,243	1.0%	2,912
中学校	地方交付税	242,300	247,900	253,100	255,400	256,800	259,400	1.0%	2,600
	国庫補助金	45,726	45,772	45,772	46,087	46,133	46,456	0.7%	323
	合 計	288,026	293,672	298,872	301,487	302,933	305,856	1.0%	2,923
高校	地方交付税	242,800	248,200	253,400	255,900	257,300	259,900	1.0%	2,600
	国庫補助金	52,325	52,743	52,743	52,905	52,958	53,329	0.7%	371
	合 計	295,125	300,943	306,143	308,805	310,258	313,229	1.0%	2,971

幼児教育の無償化について協議

1月30日、全日私幼連の臨時・理事会が、東京・私学会館において開催されました。この会に先立って開かれた臨時・常任理事会の協議が長時間に渡ったため、開会予定時刻より遅れての開始となりました。

尾上正史副会長の開会のことばの後、香川敬会長より、認定こども園のあり方について、また来年度予算中の特に就園奨励費について、さらに幼児教育の無償化に触れての挨拶がありました。続いて定足数の確認があり、委任状を含めて60名の出席があり、過半数の出席により会議の成立が認められました。

議長には12月の団体長会／理事会合同会議に引き続き、橋本幸雄理事（茨城）と藤本明弘理事（京都）が選出され、議事録署名人名には千葉多香子理事（青森）と森一男理事（愛

媛）が選任されて議事に入りました。
○報告案件1…平成25年度政府予算について、坪井久也政策委員長から報告がありました。

①就園奨励費の補助単価が引き上げられ、特に第IV階層は12、400円の増となつて、平成21年度の水準にまで戻された

②多子世帯の負担軽減が図られ、第3子以降は所得制限が撤廃されて、補助対象が拡大され、無償化への第一歩が進んだ

③子ども・子育て関連3法施行に向けて、幼稚園併設型認可外保育施設における保育料等の消費税の非課税措置など、税制改正の大綱がまとまった

政策委員長からの報告が了承され、次に協議案件に移りました。
○協議案件1…子ども・子育て関連

3法の制度設計の件が上程され、北條泰雅副会長から説明がありました。
①幼保一体化の経緯の中での問題点
②子ども・子育て支援新制度の諸問題
③市町村との関係
④残された課題

大きくこの4つの柱について、細やかな説明がありました。さまざまの問題を抱えたままの3法であり、ほとんど動きが止まったままの現状である。

○協議案件2…幼児教育無償化の件について、坪井政策委員長から説明がありました。

・幼児教育の無償化については、平成21年5月18日にすでに文科省内の研究会の中間報告で示されている
・この度の自民党の重要政策にも

掲げられていて、下村文部科学大臣も就任の記者会見で言及されている

・現在の状況を窺えば、今こそ無償化に取り組まなければ時機を逸する

二つの案件について協議を重ねる中で、流れとして次の審議案件に移っていきました。

○審議案件1…今後の振興活動の件について坪井政策委員長から説明がありました。田中雅道勸全日私幼研究機構理事長からは、世界の幼児教育の流れが無償化に向かっていることを踏まえての説明がなされました。さらに香川会長から政府自民党との協議や、全日私幼連としての今後の取り組みについて説明がありました。出席理事からは質問・意見・要望など、さまざまな発言がありました。また途中、文科省幼児教育課の蝦名喜之課長が来られ、平成25年度予算、税制改正、子ども・子育て会議等についての説明がありました。時間的には終了予定時刻をかなり過ぎていましたが、審議は続き、

○審議案件2…今後の振興活動の件
〈幼稚園教育協力金〉

○審議案件3…無償化対策本部の件
についても、活発な議論がされました。

最終的に、審議案件の一つひとつについて、挙手により採決されました。

審議案件1…今後の振興活動については、状況を判断しながら、粛々と進めることで承認。

審議案件2…過去の実績を踏まえながら、活動の原資を集める。具体的には3月の理事会で提示することで承認。

審議案件3…全日私幼連、研究機構の他、各地区から選出された構成メンバーで組織することで承認。

この後、研究機構、シートベルト、こどもがまんなかPROJECTからの報告がありました。

最後に水田泰賢監事から、熱心な議論があったが余裕を持った時間配分に努めてほしいとの所見が述べられました。

北條泰雅副会長が閉会のことを述べて、会議を終りました。

(調査広報委員長・西谷正文)

● 2・20 常任理事会

平成25年度事業計画案・収支予算案など審議

2月20日、東京・私学会館において、全日私幼連の常任理事会が開催され24人が出席しました。

香川敬会長のあいさつに続いて、議長に尾上正史副会長、議事録署名人には上田雅裕常任理事、森迫建博常任理事が選任され、議事に入りました。

■審議案件1…幼児教育の無償化の件／田中雅道(全日私幼研究機構理事)から資料をもとに説明があり、原案を一部修正し議決されました。

■審議案件2…参議院議員選挙対策本部設置の件／坪井久也政策委員長から資料をもとに説明があり、原案を議決しました。

■審議案件3…全日私幼連・平成24年度補正予算案の件／田中辰実(総務委員長)から資料をもとに説明があり、原案が議決されました。

■審議案件4…全日私幼連・平成25

年度事業計画案の件／香川会長、委員会委員長から資料をもとに説明があり、原案が議決されました。

■審議案件5…全日私幼連・平成25年度収支予算案の件／田中総務委員長から資料をもとに説明があり、原案が議決されました。

■審議案件6…全日私幼連・会則改

正案の件／田中総務委員長から資料をもとに説明があり、原案が議決されました。

■審議案件7…全日私幼連・永年勤続表彰推薦規定改正案の件／田中総務委員長から資料をもとに説明があり、原案が議決されました。

(総務委員長・田中辰実)

一〇二条園研修会

2・1
全日私幼連

2月1日、東京・私学会館において、全日私幼連の平成24年度102条園研修会が開催され全国から69人が出席しました。

村山十五副会長のあいさつに続いて、伊藤夏夫102条園対策委員長より概要説明があり開会しました。研修会の概要は次の通りです。

●現状報告①／認定こども園・幼稚園型／講師…内野光裕・全日私幼連認定こども園対策副委員長

●現状報告②／認定こども園・幼保連携型／講師…磯哲也・全日私幼連認定こども園対策委員長

●意見交換／全国の102条園の先生方から現状報告による意見交換を行ないました。



第4回ようちえん絵本大賞

～新しい絵本をみつけよう～

大賞
15冊が決定

第4回ようちえん絵本大賞は、“子どもに読み聞かせたい絵本”、“お父さん・お母さんに読んでほしい・お勧めしたい絵本”を選考の基準として、財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・調査広報委員会が最近出版された絵本の中から選考を行ないました。その結果、特別賞3作品を含む15冊の絵本が第4回ようちえん絵本大賞に選ばれました。各委員が選考のために持ち寄った絵本は、それぞれの幼稚園で子どもたちに人気のあるもの、感動を与えたものばかりです。その中から選ばれた15冊ですから、必ずお気に入りの絵本に出会うことができますと思います。調査広報委員一同、これからもたくさんの新しい絵本との出会いの一助となるよう努めてまいります。なお、参考までに調査広報委員会が絵本の紹介文とお勧めしたい年齢を記載させていただきました。

第4回ようちえん絵本大賞 受賞一覧

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
特別賞 財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長賞 おへそのあな 長谷川義史 作 B L 出版 (年少～年長)	「もうすぐだね」「あっ、動いたよ」「元気に生まれておいで」と、みんなでママのお腹を取り囲んでいるけど、「お腹の中からは？」って考えたこともありませんネ。「おへそのあなから、みえる」って、これは実にタノシイ。おへそのあなから見えるものは、迎えてくれる家族たち。みんな生まれてくるのを待っている。一つのいのちを真ん中において、繰り広げられる光景のあったかさもウレシイ。匂いも音も取り囲みます。だから、お腹の中で言いますヨ「あしたうまれていくからね!」。これステキです。
調査広報委員長賞 あかにんじゃ 穂村 弘 作 木内達朗 絵 岩崎書店 (年中～年長)	おりがみの手裏剣が大好きな子どもたちにとって、忍者は永遠のヒーローです。その忍者が真っ赤だったら…？ ひみつの巻物をねらってお城に忍びこんだものの、その姿はあまりにも目立ちすぎ。ドロンドロンと変身しても、いつも赤いままでは、一難去ってまた一難。いつの間にか時間と空間を越えて、現代にやってきてしまいます。広げたページいっぱいの色彩がとっても鮮やかです。最後のページは、いつまでも記憶に残るでしょう！
こどもが まんなか PROJECT 賞 新幹線のたび～はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断 コマヤスカン 作・絵 講談社 (年長)	いま、新幹線が青森から鹿児島まで一本の線路で繋がったことをどれくらいの人知っているだろう？ この絵本は青森から新幹線に乗って鹿児島まで出かける親子の話です。鳥のように空から俯瞰するようにして、読み手の私たちもまた新幹線と共に旅をする。こんな絵本が今まであったらどうか？ なるほど、日本という国は上空から見るとこんな風になっているのかと、これまで私の頭の中にはなかった新たな視点も与えられ、夢中になって何度も読み返しました。まだ夜も明けきらないホームに姿を現した新幹線「はやぶさ」。さあ、はるかとお父さんの旅のはじまります。

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
おおきくなるってことは 中川ひろたか 文 村上康成 絵 童心社 (年中～年長)	この絵本は、「大きくなりたい！」という子どもの思いに寄り添い、応援してくれるような絵本だと思います。心と体の成長が、シンプルな絵と言葉でとてもわかりやすく描かれており、子ども自身が自分の成長に気付いたり、自分も「やってみたい！」「できるようにになりたいなあ」と思える場面がたくさんあります。親子で成長を喜びあいながら、何度でも読み返したくなる素敵な絵本です。
まじょのほうき さとうめぐみ 文・絵 ハッピーオウル社 (年中)	この絵本は、ある日突然、魔女が空から落ちてくるお話です。そして、ほうきが壊れて戻れなくなっていました。魔女がほうきを直そうと、ちょっとその場を離れたすきにトラがやってきて、壊れたほうきを頭につけるとまるでライオンみたいになりました。それからロバはシマウマに、ヤマアラシはウサギに変身するというお話です。子どもたちは変身することが大好きです。子どもたちの変身願望をくすぐる一冊です。
しろくまのパンツ ツペラツペラ 作 ブロンズ新社 (年少～年中)	パンツをなくした白クマさん。困っていると心配したネズミさんが一緒にパンツを探しに行ってくれます。しましまのパンツ、花柄のパンツ、へんてこりんなパンツなどなど、仕掛け絵本の本領発揮！ 子どもたちは大喜びで、ページが進んでいくのを楽しみます。そして、物語のラストにはアッと驚く結末が！ 最後まで読んだらもう一度いちばん最初のページに戻ってみてください。もう一つの発見があるかも。お楽しみに！
おいしいおと 三宮麻由子 文 ふくしまあさえ 絵 福音館書店 (年少～年中)	「おいしい」の一つひとつに音があるなんて、考えたことありましたか？ 「おいしさ」を「おと」で読んでみようって発想がいいですね。一食分の献立をなぞって、一つひとつの食材の「おと」をつづっています。いろんな音の楽しさと、「ああ おいしい」で次のページに進むリズムも気持ちいいです。箸や手が描かれているのもいいなあ。「食べる」ことのリアリティが伝わり、だから「おいしいおと」が響くのです。さて、みんなの好きなもの何かな？ どんな音がするのでしょうか？
ふゆじたくのおみせ ふくざわゆみこ 作 福音館書店 (年少～年長)	森のクマさんとヤマネさんのほんわりとあたたかくなるお話です。いちばんのおすすめは絵がキレイ！ 秋の終わりの森の様子が細やかに描かれており、絵本の前から森にワープしたような気持ちになります。森の動物たちの通貨は子どもたちの大好きなドングリ！ 1個のドングリをめぐるクマさんとヤマネさんの心が通います。
つんつくせんせいといたずらぶんぶん たかどの ほうこ 作・絵 フレーベル館 (年長)	ある日、つんつく園の子どもたちと先生とが物置小屋の片づけをしていましたら、古い壺が見つかりました。中は空っぽ。それを先生がのぞきこんだとたん、先生の喉に異変が起こりました。言うべきことが言えず、とんでもない言葉を発するようになってしまいました。さあ大変！ でも大丈夫。注意書が見つかりましたので。

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
うどんのうーやん 岡田よしとか 作 ブロンズ新社 (年中～年長)	第3回ようちえん絵本大賞で紹介した「ちくわのわーさん」に続く第2弾。今度はうどんが大活躍します。人手が足りないうどん屋さん。うどんのうーやんは自分で出前に出かけます。出前の途中で困っている仲間(?)を助けながら、何度も訪れるピンチを乗り越えます。最大のピンチは七味唐辛子に助けられ、ようやく出前先に到着します。めでたし、めでたし。ところで、うーやんは何うどんだったのでしょうか？
ぞうくんのあめふりさんぽ なかのひろたか 作・絵 福音館書店 (年少～年中)	ご存じ「ぞうくんのさんぽ」の続編かな。でも場面設定は全く逆で、「きょうはいいてんき」が「きょうはあめふり」です。さんぽに行く先は池の中。泳げないゾウくんをカバくんが乗せ、ワニくんが乗せ、カメくんがみんなを乗せます。最後は転んでみんな池の中。「あれっ ぞうくんがおよいだ」とストーリーは大団円。「みんなごきげん」でめでたしメデタシ。「ぞうくんのさんぽ」とセットで読むことをお勧めします。「ぞうくんのおおかぜさんぽ」も加えると、さらに面白いですよ！
新世界へ あべ弘士 作 偕成社 (年中～年長)	絵本は絵である。優れた絵本は絵を見ているだけで、そのストーリーを想像することができます。優れた絵本の絵には、言葉よりもっと雄弁に、物語を物語る力があります。荒々しい北極海を渡るカオジロガンの親子。その彼らの目を通して、雄大で厳しい自然の息づかいが、大胆にして精緻、単純にして力強い線と色彩で描かれた、あべ弘士さんの最新作。さあ、渡り鳥たちと共に飛び立とう、新しい世界へ！
小学館の図鑑 NEO+ くらべる図鑑 小学館 (年中～年長)	「知識」は「実感」することで、より身につきます。図鑑により「知識」を仕入れ、身近なものと「くらべる」ことで「実感」をプラスするこの図鑑は、新しい発見に何度も出会え、子どもたちのワクワク感を絶対に裏切りません。「何が好き？」と子どもたちに質問すると「ぞうのおしりー」とか、「プールでの魚の競争！」だったり、自分では思いつかない「視点」や「観点」がこの本の最大の魅力となっているようです。
ねこガム きむらよしお 作 福音館書店 (年少)	ある男の子が、ガムを噛んでいます。大きく膨らんだガムはやがてネコの顔になります。何と今度は、男の子がガムのはずのそのネコに吸い込まれてしまいます。そして今度は、男の子とネコがガムの吹きあいになり、結局、両方とも「パーン」と破れてしまいます。男の子はどうなってしまうのでしょうか。最後のページには…。空想と現実の世界を見事に行き来させてくれる作品です。
なるほど忍者大図鑑 ヒサクニヒコ 絵・文 国土社 (年中～年長)	忍者って?? きっと吸いこまれるように子どもたちの興味関心がわきあがってくるでしょう。忍者の生活・武器・術・衣装、なんでも詳しく載っています。子どもたちの園生活にも折り紙で手裏剣を折ったりする機会があります。「むかし忍者っていたんだよ」という話から忍者の世界が広がった時にぜひ開いてみてください、きっと大人も興味津々間違いなし！

(全15作品)

「開催要項」及び「参加申込書」は、4月初旬にあらためてご案内させていただきます。

～研究発表をご希望される方へ～

【発表資格】発表者は、次の条件を満たしていることが必要です。

- ①幼儿教育の実践に携わっていること。或いは、実践を基に研究を行っていること。
- ②平成25年3月29日（金）までに「口頭発表」（地区・都道府県）、「ポスター発表」の申込書・企画趣旨概要を提出済みであること。
- ③発表者は大会に参加して発表ならびに討論・質疑応答に参加すること。

【研究・発表形態と条件】

- ①保育実践をより豊かにすることを目指すことから、実践を踏まえた研究であること。
- ②特に地区からの発表には、現場と共に歩む研究者を育てる意味からも、できるだけ大学等の共同研究者にも参加して頂きたい。
- ③研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば動画や写真など映像等を用いていく。
- ④既発表のものでも構いません。
- ⑤発表は園児、保護者等の個人情報等の管理等について発表者の責任において行ってください。

【口頭発表・ポスター発表 申込方法】

- ①口頭発表（地区・都道府県）・ポスター発表
 - ・本財団に申込書・企画趣旨概要をメールにて申し込みを行う
 - ・締切：平成25年3月29日（金）宛先：info@youchien-kikou.com
 - ・申込書のフォームは本財団のホームページ（<http://www.youchien-kikou.com/>）からダウンロードができます。

【発表要領】

- ①口頭発表（地区・都道府県）（1セッション90分）
 - ・発表時間は1発表につき45分～60分程度、残りの時間を質疑応答協議とします。発表後、座長の進行で討論を行います。
 - ・発表に際しては、出来るだけ実践での映像等を用いて参加者が提案事例をより共有しやすいようにしてください（PCは各自持参のこと）
- ②ポスター発表（園・個人・研究者）（1セッション120分）
 - ・発表者は、縦180cm×横90cmのスペースに実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターを準備し、会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。セッション時間中は、必ず在席してください。
 - ・発表ポスターは各自が持参し、2日目に所定の場所に貼って、終了後各自で撤収し、持ち帰ってください。

【発表区分】

- ・研究発表希望者は、本財団の研修俯瞰図の内容区分から選択してください。

【その他】

- ・宿泊先の確保、交通チケットなどは各自でご予約ご購入ください。

第4回 幼児教育実践学会

〔 本学会の位置付けは、本財団が主催する実践を中心とした全国研究会です。 〕

第1次案内（予定）

- テーマ 「広く、深く、ていねいに保育の質を考える」
～保育臨床の視点を大切にする研修と研究を進めよう～

●趣 旨

すべての幼児教育の現場の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、平成22年度、幼児教育実践学会がスタートしました。（本学会では、3つの柱により学会運営を行ないます①発表者には、実践を踏まえた研究発表を行っていただき、できるだけ映像等を使用していただきたい②参加者には、生きた研修のメイキングの仕方を学んでいただき、地区から都道府県から各園に情報等を広めていただきたい③本学会は、現場と共に歩む若手研究者を育てたい）

- 期 日 平成25年8月23日（金）・24日（土）
●共 催 （社）福岡県私立幼稚園振興協会「保育実践フォーラム」
●予定会場 福岡県福岡市・都久志会館、ホテル福岡ガーデンパレス 他
《地下鉄空港線・天神駅から徒歩5分》
●参加資格 幼児教育関係者
●定 員 500人
●参加費 4,000円

大会の流れ（予定）

○第1日目

10:00～11:30	13:00～13:30	13:30～16:45	17:00～18:30
記念講演	開会式 表彰式	学会企画シンポジウム 他	保育者と研究者の 交流懇親会

※「記念講演」は福岡県私立幼稚園振興協会の「保育実践フォーラム」との共催で行われます。
※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。
※「表彰式」では、本財団の平成24年度優秀教員表彰者を表彰します。
※「保育者と研究者の交流懇親会」は、立食・軽食とし、会費（3,000円）は参加費とは別途徴収。

○第2日目

「口頭発表・対談」 へ参加する場合	9:00～11:30	11:30～12:45	12:45～14:15	14:30～16:00
	口頭発表①	昼食 ポスター発表	口頭発表②	対談
「ワークショップ」 へ参加する場合	9:00～11:30	11:30～13:00	13:30～16:00	
	ワークショップ	昼食 ポスター発表	ワークショップ	

※「口頭発表・対談」「ワークショップ」の2つの選択により、日程が異なります。
※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。
※終了後は各自解散となります。

○平成24年度私立幼稚園保育料等調査

国公立幼稚園保育料等推移

(1人あたり年額/単位:円)

区分 年度	国 立			公 立			私 立			公私格差 (B - A)
	保育料	入園料	計	保育料	入園料	計 A	保育料	入園料	計 B	
61	52,800	18,000	70,800	53,447	907	54,354	142,784	36,880	179,664	125,310
62	52,800	18,000	70,800	55,161	948	56,109	145,347	37,179	182,526	126,417
63	52,800	21,000	73,800	56,444	980	57,424	148,151	37,526	185,677	128,253
元	54,600	21,600	76,200	57,834	1,000	58,834	152,668	37,997	190,665	131,831
2	54,600	23,700	78,300	58,463	1,025	59,488	160,278	38,946	199,224	139,736
3	56,400	23,700	80,100	59,435	1,043	60,477	167,812	40,090	207,902	147,425
4	59,400	26,000	85,400	60,850	1,057	61,907	177,364	42,027	219,391	157,484
5	62,400	26,000	88,400	63,130	1,110	64,240	186,348	43,860	230,208	165,968
6	62,400	29,000	91,400	64,180	1,125	65,305	193,504	45,330	238,834	173,529
7	66,000	29,000	95,000	65,713	1,171	66,884	200,212	46,277	246,489	179,605
8	66,000	30,000	96,000	66,823	1,249	68,072	205,870	46,988	252,858	184,786
9	66,000	30,000	96,000	68,639	1,203	69,842	212,063	47,765	259,828	189,986
10	66,600	30,500	96,500	70,161	1,216	71,377	216,423	48,378	264,801	193,424
11	68,400	30,500	98,900	71,349	1,239	72,588	219,916	48,693	268,609	196,021
12	68,400	30,700	99,100	72,451	1,237	73,688	222,934	48,911	271,845	198,157
13	70,800	30,700	101,500	73,352	1,236	74,588	226,098	49,332	275,430	200,842
14	70,800	31,300	102,100	73,779	1,213	74,992	228,393	49,653	278,046	203,054
15	70,800	31,300	102,100	74,572	1,237	75,809	229,991	49,902	279,893	204,084
16	——	——	——	75,176	1,202	76,378	232,284	50,041	282,325	205,947
17	——	——	——	75,333	1,205	76,538	234,711	50,554	285,265	208,727
18	——	——	——	76,087	1,233	77,320	237,348	50,709	288,057	210,737
19	——	——	——	76,652	1,209	77,861	243,181	51,442	294,623	216,762
20	——	——	——	77,632	1,205	78,837	247,478	51,800	299,278	220,441
21	——	——	——	78,029	1,216	79,245	251,200	52,365	303,565	224,320
22	——	——	——	78,267	1,195	79,462	253,480	52,298	305,778	226,316
23	——	——	——	78,451	1,224	79,675	255,692	52,419	308,111	228,436
24	——	——	——	77,940	1,203	79,143	257,478	52,519	309,997	230,854

* 国立幼稚園の保育料等（平成16年度以降）は、国立大学法人化に伴い各法人ごとに規定

私立幼稚園納入金平均額の推移

(単位:円)

区分	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度	
	金 額	上昇率	金 額	上昇率	金 額	上昇率	金 額	上昇率	金 額	上昇率	金 額	上昇率	金 額	上昇率	金 額	上昇率	金 額	上昇率
保育料	232,284	1.0	234,711	1.0	237,348	1.1	243,181	2.5	247,478	1.8	251,200	1.5	253,480	0.9	255,692	0.9	257,478	0.7
入園料	50,041	0.3	50,554	1.0	50,709	0.3	51,442	1.4	51,800	0.7	52,365	1.1	52,298	▲0.1	52,419	0.2	52,519	0.2
施設整備費	32,400	▲1.5	33,478	3.3	30,293	▲9.5	32,236	6.4	33,250	3.1	34,151	2.7	34,069	▲0.2	35,566	4.4	34,904	▲1.9
計	314,725	0.6	318,743	1.3	318,350	▲0.1	326,859	2.7	332,528	1.7	337,716	1.6	339,847	0.6	343,677	1.1	344,901	0.4

平成24年度 私立幼稚園保育料等平均額

(単位：円)

都道府県名	保育料	対前年度 増▲減%	入園料	対前年度 増▲減%	施設整備費	対前年度 増▲減%	合計	対前年比 増▲減%
全国の平均	257,478	0.7	52,519	0.2	34,904	▲1.9	344,901	0.4
北海道	209,711	0.8	41,046	▲0.6	24,438	▲3.2	275,195	0.2
東北	青森	253,817	0.6	27,284	▲0.8	1.5	348,485	0.7
	岩手	209,558	2.8	25,946	0.2	▲1.5	263,890	2.1
	宮城	218,779	1.6	30,120	0.6	▲4.4	299,615	0.4
	秋田	213,642	0.6	21,029	▲6.5	▲45.3	256,819	▲6.7
	山形	259,803	2.9	29,270	0.2	▲7.4	336,588	1.1
	福島	213,778	0.3	27,835	4.3	3.5	260,691	0.7
関東	茨城	224,082	0.8	39,464	0.0	1.8	314,653	0.9
	栃木	253,267	0.6	41,282	▲0.2	1.5	322,286	0.6
	群馬	235,503	1.9	33,097	0.5	▲4.8	296,568	1.1
	埼玉	282,052	0.3	63,555	▲0.1	0.6	371,183	0.3
	千葉	249,746	0.7	64,666	0.2	1.0	345,048	0.6
	新潟	241,366	0.2	27,442	0.0	▲3.5	310,052	▲0.4
	山梨	259,849	0.0	33,525	0.0	24.1	309,621	1.0
東京	312,900	0.7	102,331	0.5	41,693	1.4	456,924	0.7
神奈川	310,854	0.5	106,544	0.3	33,939	0.8	451,337	0.5
東海・北陸	富山	225,911	0.3	25,714	0.0	0.4	285,641	0.3
	石川	240,203	1.1	21,859	0.0	0.0	281,473	1.0
	福井	225,045	2.1	26,438	0.6	▲3.7	282,599	1.3
	長野	254,116	1.9	24,084	0.2	▲1.2	318,597	1.4
	岐阜	290,969	0.5	24,828	0.2	0.6	361,167	0.5
	静岡	226,873	0.6	31,649	1.2	▲19.8	294,901	▲2.4
	愛知	227,402	0.7	33,825	0.7	0.2	320,607	0.6
	三重	259,176	0.4	31,983	0.6	▲1.0	329,065	0.3
近畿	滋賀	243,030	1.6	36,067	2.3	▲0.9	315,897	1.4
	京都	240,533	0.4	56,235	0.1	▲4.5	344,908	▲0.4
	兵庫	252,381	1.0	56,370	0.3	2.4	344,084	1.0
	奈良	210,633	1.3	42,674	0.0	▲1.5	361,010	0.3
	和歌山	215,573	0.9	28,295	0.4	4.3	280,183	1.3
大阪	264,987	0.8	56,513	▲0.2	32,983	▲1.7	354,483	0.4
中国	鳥取	267,711	3.0	18,929	▲0.7	▲24.0	320,368	▲1.0
	島根	235,403	▲1.5	26,923	1.9	50.1	308,865	▲7.1
	岡山	196,282	3.7	26,441	5.3	6.1	255,760	4.1
	広島	237,343	0.3	39,653	1.1	▲4.2	303,902	0.0
	山口	218,628	0.0	16,606	▲0.2	2.9	266,259	0.3
四国	徳島	275,500	0.0	51,250	0.0	▲0.8	403,839	▲0.2
	香川	211,389	1.6	26,057	0.0	▲2.5	270,989	0.9
	愛媛	194,400	0.3	26,505	0.2	5.6	246,537	0.8
	高知	291,484	0.7	31,000	1.1	▲3.0	341,984	0.5
九州	福岡	270,403	1.0	45,802	0.5	▲1.1	352,884	0.7
	佐賀	249,587	▲4.3	23,334	1.0	▲50.4	282,805	▲6.9
	長崎	284,732	0.8	32,586	0.5	3.6	334,074	0.9
	熊本	232,603	1.9	23,935	▲1.4	▲11.4	283,440	0.1
	大分	256,315	1.2	30,193	1.0	2.0	316,023	1.2
	宮崎	251,581	1.9	28,399	▲2.5	▲1.7	294,856	1.2
	鹿児島	277,647	1.0	38,974	▲0.4	▲3.8	331,273	0.6
	沖縄	236,872	1.0	28,152	1.8	▲2.0	294,257	0.8

資料出所＝文部科学省

※各都道府県の「合計」欄については、各学校における授業料、入学金及び施設整備費等の合計額を集計し学校数で除しているため、表中の各欄（授業料、入学金、施設整備費等）の合計と一致しないことがある。

平成 24 年度 公立幼稚園保育料等平均額の比較

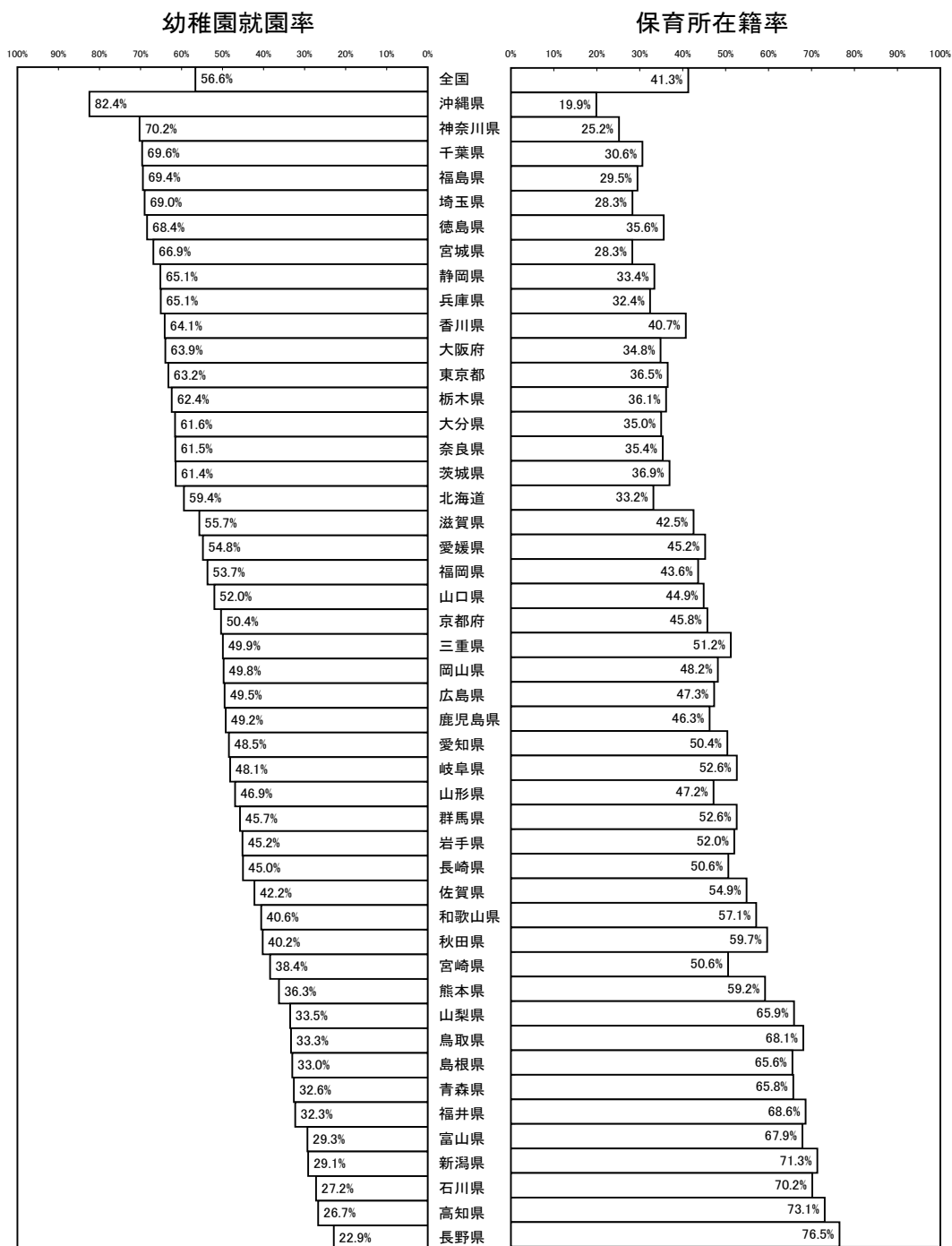
(単位:円)

都道府県名	公立幼稚園 保育料(A)	私立幼稚園 保育料(B)	公私の格差 (B)－(A)	公私 比率	公立幼稚園 入 園 料	私立幼稚園 入 園 料	公立幼稚園 合 計 (C)	私立幼稚園 合 計 (D)	公私の格差 (D)－(C)	
全国の平均	77,940	257,478	179,538	3.3	1,203	52,519	79,143	309,997	230,854	
北海道	89,666	209,711	120,045	2.3	1,644	41,046	91,310	250,757	159,447	
東北	青 森	72,491	253,817	181,326	3.5	1,316	27,284	73,807	281,101	207,294
	岩 手	65,943	209,558	143,615	3.2	1,604	25,946	67,547	235,504	167,957
	宮 城	59,552	218,779	159,227	3.7	459	30,120	60,011	248,899	188,888
	秋 田	94,054	213,642	119,588	2.3	0	21,029	94,054	234,671	140,617
	山 形	103,551	259,803	156,252	2.5	584	29,270	104,135	289,073	184,938
	福 島	54,360	213,778	159,418	3.9	206	27,835	54,566	241,613	187,047
関東	茨 城	52,767	224,082	171,315	4.2	444	39,464	53,211	263,546	210,335
	栃 木	96,923	253,267	156,344	2.6	1,156	41,282	98,079	294,549	196,470
	群 馬	65,472	235,503	170,031	3.6	1,144	33,097	66,616	268,600	201,984
	埼 玉	91,436	282,052	190,616	3.1	550	63,555	91,986	345,607	253,621
	千 葉	79,173	249,746	170,573	3.2	925	64,666	80,098	314,412	234,314
	新 潟	74,247	241,366	167,119	3.3	1,341	27,442	75,588	268,808	193,220
	山 梨	121,953	259,849	137,896	2.1	0	33,525	121,953	293,374	171,421
東 京	80,028	312,900	232,872	3.9	741	102,331	80,769	415,231	334,462	
神 奈 川	99,110	310,854	211,744	3.1	2,211	106,544	101,321	417,398	316,077	
東海・北陸	富 山	96,977	225,911	128,934	2.3	0	25,714	96,977	251,625	154,648
	石 川	173,142	240,203	67,061	1.4	0	21,859	173,142	262,062	88,920
	福 井	68,131	225,045	156,914	3.3	2,812	26,438	70,943	251,483	180,540
	長 野	192,178	254,116	61,938	1.3	1,450	24,084	193,628	278,200	84,572
	岐 阜	78,769	290,969	212,200	3.7	6	24,828	78,775	315,797	237,022
	静 岡	72,955	226,873	153,918	3.1	524	31,649	73,479	258,522	185,043
	愛 知	95,543	227,402	131,859	2.4	566	33,825	96,109	261,227	165,118
	三 重	71,057	259,176	188,119	3.6	0	31,983	71,057	291,159	220,102
近畿	滋 賀	80,043	243,030	162,987	3.0	89	36,067	80,132	279,097	198,965
	京 都	99,098	240,533	141,435	2.4	1,944	56,235	101,042	296,768	195,726
	兵 庫	88,761	252,381	163,620	2.8	2,563	56,370	91,324	308,751	217,427
	奈 良	73,404	210,633	137,229	2.9	1,759	42,674	75,163	253,307	178,144
	和歌山	70,566	215,573	145,007	3.1	458	28,295	71,024	243,868	172,844
大 阪	105,681	264,987	159,306	2.5	2,067	56,513	107,748	321,500	213,752	
中国	鳥 取	155,176	267,711	112,535	1.7	0	18,929	155,176	286,640	131,464
	島 根	91,831	235,403	143,572	2.6	587	26,923	92,418	262,326	169,908
	岡 山	64,013	196,282	132,269	3.1	0	26,441	64,013	222,723	158,710
	広 島	86,123	237,343	151,220	2.8	1,209	39,653	87,332	276,996	189,664
	山 口	74,141	218,628	144,487	2.9	49	16,606	74,190	235,234	161,044
四国	徳 島	78,773	275,500	196,727	3.5	25	51,250	78,798	326,750	247,952
	香 川	65,651	211,389	145,738	3.2	0	26,057	65,651	237,446	171,795
	愛 媛	64,407	194,400	129,993	3.0	1,330	26,505	65,737	220,905	155,168
	高 知	49,780	291,484	241,704	5.9	19	31,000	49,799	322,484	272,685
九州	福 岡	69,760	270,403	200,643	3.9	2,112	45,802	71,872	316,205	244,333
	佐 賀	104,004	249,587	145,583	2.4	1,758	23,334	105,762	272,921	167,159
	長 崎	71,448	284,732	213,284	4.0	3,259	32,586	74,707	317,318	242,611
	熊 本	64,333	232,603	168,270	3.6	307	23,935	64,640	256,538	191,898
	大 分	62,947	256,315	193,368	4.1	55	30,193	63,002	286,508	223,506
	宮 崎	57,224	251,581	194,357	4.4	3,465	28,399	60,689	279,980	219,291
	鹿児島	55,509	277,647	222,138	5.0	444	38,974	55,953	316,621	260,668
沖 縄	52,317	236,872	184,555	4.5	5,518	28,152	57,835	265,024	207,189	

注) 公私の比率は、公立幼稚園を1とした場合の私立幼稚園の率

資料出所＝文部科学省

都道府県別幼児教育・保育の普及状況（５歳児）



(注)・保育所在籍率については、「平成22年社会福祉施設等調査」(平成22年10月1日現在)を調査対象施設数及び集計施設数で割り戻した数値を学年例別に換算し、文部科学省で推計したものである。
 ・推計値であるため、幼稚園就園率と保育所在籍率の合計が100%を超えることがある。
 (資料)文部科学省「平成22年度学校基本調査報告書」(平成22年5月1日現在)、厚生労働省「平成22年社会福祉施設等調査」(平成22年10月1日現在)、総務省「平成22年国勢調査」(平成22年10月1日現在)

私立幼稚園における認定こども園数一覧

(平成24年5月1日現在)

都道府県名	合 計		学 校 法 人		宗 教 法 人		そ の 他 の 法 人		個 人	
	幼稚園数	認定こども園	幼稚園数	認定こども園	幼稚園数	認定こども園	幼稚園数	認定こども園	幼稚園数	認定こども園
合 計	8,202	637	7,336	589	411	2	52	40	403	6
北 海 道	476	24	471	22			2	2	3	
東 北	青 森	112	16	110	16	2				
	岩 手	84	14	82	13	1	1	1		
	宮 城	184	5	157	4	12	1	1	14	
	秋 田	73	17	64	14	1	8	3		
	山 形	90	15	83	12	2	3	3	2	
	福 島	149	21	133	21	11			5	
関 東	茨 城	196	21	193	19		2	2	1	
	栃 木	192	13	185	13	6			1	
	群 馬	125	24	119	24	4			2	
	埼 玉	565	27	535	27	10			20	
	千 葉	428	13	402	12	11	1	1	14	
	新 潟	113	20	112	20	1				
	山 梨	69	3	65	3	3			1	
東 京	856	49	504	41	162	1	3	1	187	6
神 奈 川	672	26	539	26	61		1		71	
東 海 ・ 北 陸	富 山	59	8	55	8	4				
	石 川	65	6	65	6					
	福 井	33	5	30	4	1	1	1	1	
	長 野	105	8	101	8	4				
	岐 阜	106	5	106	5					
	静 岡	244	7	238	5	3	3	2		
	愛 知	429	10	417	10	9			3	
	三 重	62	2	59	2	3				
近 畿	滋 賀	31	7	27	3		4	4		
	京 都	161		149		9			3	
	兵 庫	248	41	211	33	20	9	8	8	
	奈 良	43		43						
	和歌山	46	4	42	2	2	2	2		
大 阪	433	20	411	18	13		3	2	6	
中 国	鳥 取	28	7	28	7					
	島 根	17		14		1			2	
	岡 山	34	1	34	1					
	広 島	206	22	196	21	3	1	1	6	
	山 口	142	6	130	6				12	
四 国	徳 島	12		11		1				
	香 川	35	1	34	1				1	
	愛 媛	107	11	102	11	2			3	
	高 知	31	10	29	10	2				
九 州	福 岡	426	16	365	15	35	1	1	25	
	佐 賀	94	31	86	29	4		2	2	2
	長 崎	132	31	126	29	2		2	2	2
	熊 本	112	2	111	2				1	
	大 分	73	17	67	17	2			4	
	宮 崎	117	28	115	27	1	1	1		
	鹿児島	152	23	150	22		1	1	1	
	沖 縄	35		30		3			2	

全日私幼連調査(各都道府県担当課回答から)

OECD 幼児教育事情報告のまとめ

（関）全日本私立幼稚園 幼児教育研究機構理事 長 田中 雅道

子どもの育つ視点に立って 子どもにとっていい環境づくりを

日本の幼児教育無償化議論が活

発になってきました。振り返れば 2006 年の政府骨太方針に幼児教育の重要性が盛り込まれて以降、政府機関においても少しずつ幼児教育の重要性が認識されてきた結果であると思っています。前政権下では幼児期における教育環境がどうあるべきかの議論なしに制度論だけが先行してきたために、幼稚園教育に携わる人たちに混乱だけが醸成されてきました。子どもが育つ視点に立って、子どもにとっていい環境づくりの議論ができることを祈っています。

既に紹介してきたヘッグマンの縦断研究の成果は、貧困層の幼児教育投資効果を調査したものです。日本における貧困とは何かを十分に吟味しないと、これからの幼児教育の方向性を見誤ってしまうことになるのではという危惧を抱いています。OECD 諸国では幼児教育の成果を明確にしていこうという方向性が議論さ

れ始めています。

幼児期において獲得されなければならない能力は、自らの力で周囲の事象を意味づけ体系化していく力を培うことです。その結果として文字を獲得し、数量概念の基礎を獲得し、自然や社会のさまざまな事象に対して興味を持って関わっていくことを育てること大切になっています。小学校以降の義務教育のように体系化された内容を教えるという課題認識とは、そのベクトルの方向が逆なのです。幼稚園界において大切なことは、教え込まれるのではなく、自らの力で世界を広げていくことをサポートする教育観が広がっていかねばなりません。

日本における幼児教育は幼稚園が担ってきました。今後も幼児教育の主流は幼稚園が担うことに変わりありません。世界の中で日本の幼稚園教育は高い評価を得ています。その結果として少し低下してきているとはいえ、まだまだ日本の学力は世界

のトップレベルを維持してきているのです。

いま、幼児を取り巻く環境が急速に悪化してきています。社会構造が変化し、子どもが家庭内でゆつくりと育つ環境が壊れてきています。幼稚園がこの社会構造の変化にどれだけ対応して、子どもの育つ環境を維持しつつ、家庭を支える役割を担うことが求められています。

幼稚園の窓から社会を見ていると、すべての子どもが幼稚園で育てられるような豊かな社会になって欲しいと願うのですが、一方では社会のすべての人に対応する施設に変化することを求める声も上がっています。

いまこそ、幼稚園が機能を広げて多くの子どもが育つていける環境に変化するとともに、どこが幼稚園での育ちであり、家庭の教育機能はどうあるべきかの接点を求めることが必要だと感じています。社会の構造変化に対して幼稚園はその機能を、子どもの視点から発信していける唯一つの機関であることを再確認したいと思っています。

（おわり）

「安心こども基金」における文部科学省関係事業について

■はじめに

安心こども基金については、平成24年度経済危機対応・地域活性化予備費において、136億円が計上され、積み増しが必要な都道府県への交付を行うとともに、事業実施期限を25年度末まで1年間延長しました。文部科学省関係では、次の表に掲げる事業について、②欄の実施主体が、①欄の事業内容を実施する場合、③欄に掲げる補助率が適用されることとなっています。

また、平成22年度末までとなっていた「幼児教育の質の向上のための緊急環境整備」のうち、遊具・運動用具・教具(図書を含む)等の整備について、25年度末まで実施期限を延長することとしましたので、質の高い環境で、子どもを安心して育てるため、遊具や子どもの読書活動の推進のための図書整備などに積極的にご活用ください。

なお、補助を希望する場合は、各都道府県の「安心こども基金」の担当窓口までお問い合わせください。

①事業内容	②実施主体	③補助率			④事業実施期限
		国	都道府県	市町村	
○認定こども園整備事業 幼保連携型認定こども園の幼稚園、又は幼保連携型の要件を満たす保育所型認定こども園の幼稚園機能部分若しくは幼稚園型認定こども園の保育所機能部分の施設整備費(創設、増築、増改築、改築、大規模修繕等)の補助を実施する。 ※ 学校法人等が対象 ※ 幼稚園型認定こども園の保育所機能部分については、対象児童における1歳以上の全年齢の子どもを受け入れる場合に補助対象	市町村	1/2	—	1/4	平成26年3月31日とする。ただし、平成25年度中に施設整備に着手し、平成26年度に完了が見込まれる場合には、施設整備が完了する月の末日又は平成27年3月31日のいずれか早い日とする。
○幼稚園耐震化促進事業 認定こども園への移行を予定する幼稚園(既に認定こども園に移行した場合を含む。)の耐震化を促進するための施設整備費(増改築、改築)の補助を実施する。 ※ 学校法人等が対象 ※ 概ね5年以内に幼保連携型認定こども園又は幼稚園型認定こども園(年齢要件なし)に移行する計画を有すること	都道府県	1/2	—	—	
○認定こども園事業費 保育所型認定こども園の幼稚園機能部分及び幼稚園型認定こども園の保育所機能部分に関する事業に対し、事業費の補助を実施する。 ※ 学校法人等が対象 ※ 幼稚園型認定こども園の保育所機能部分については、対象児童における1歳以上の全年齢の子どもを受け入れる場合に補助対象	市町村	1/2	1/4	1/4	平成25年度末
○幼児教育の質の向上のための緊急環境整備 幼児教育の質の向上のため、遊具・運動用具・教具(図書を含む)・保健衛生用品等(短期間のうちに消耗する物品や個人の所要に係る物品を除く)の整備のための費用を支援する。 ※ 学校法人等が対象 ※ 補助基準額:1施設当たり 2,000千円	都道府県	1/2 ↑ 幼保連携型認定こども園を構成する幼稚園 ↓ 上記以外の幼稚園 1/3	—	—	平成25年度末
○認定こども園等における教育の質の向上のための研修支援 教育の質を向上させるために行う、認定こども園における研修、幼稚園・保育所の教職員の合同研修及び幼稚園と保育所等の連携に係る研修を実施する。また、研修(都道府県、市町村が必要と認める研修に限る。)に参加することを可能にするための費用の補助を行う。 ※ 研修の対象者:幼稚園・認定こども園・保育所の教職員等 ※ 補助対象経費:研修事業の実施に必要な賃金、諸謝金、旅費、需用費(消耗品費、印刷製本費、会議費)、役務費(通信運搬費等)、委託料、使用料、賃借料等及び研修参加職員の代替に伴う賃金、研修参加費等 ※ 補助基準額:研修参加教職員1人当たり 6,250円	都道府県	○事業主が都道府県の場合 1/2 ○事業主が市町村の場合 1/2 ○事業主が都道府県が適当と認める者の場合 1/2	1/2	—	平成25年度末

【補助基準額表】＜文部科学省関係部分抜粋＞

- 認定こども園整備事業
○幼稚園耐震化促進事業

＜本体工事＞

(単位:千円)

	基準額(1施設当たり)							
	A地域		B地域		C地域		D地域	
	青森県・岩手県・福島県・東京都・富山県・山梨県・長野県・沖縄県		北海道・宮城県・秋田県・山形県・茨城県・神奈川県・新潟県・石川県・岐阜県・静岡県・三重県・京都府・大阪府・奈良県・鳥取県・広島県・熊本県・鹿児島県		栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・福井県・愛知県・滋賀県・兵庫県・和歌山県・島根県・岡山県・山口県・香川県・高知県・佐賀県・長崎県・宮崎県		徳島県・愛媛県・福岡県・大分県	
	標準	都市部	標準	都市部	標準	都市部	標準	都市部
定員20名以下	82,000	90,200	78,000	85,800	74,000	81,400	70,000	77,000
定員21～30名	86,000	94,600	82,000	90,200	80,000	88,000	76,000	83,600
定員31～40名	100,000	110,000	94,000	103,400	90,000	99,000	86,000	94,600
定員41～70名	114,000	125,400	108,000	118,800	102,000	112,200	98,000	107,800
定員71～100名	148,000	162,800	142,000	156,200	134,000	147,400	128,000	140,800
定員101～130名	178,000	195,800	170,000	187,000	160,000	176,000	154,000	169,400
定員131～160名	206,000	226,600	198,000	217,800	186,000	204,600	178,000	195,800
定員161～190名	234,000	257,400	224,000	246,400	212,000	233,200	200,000	220,000
定員191～220名	260,000	286,000	250,000	275,000	240,000	264,000	224,000	246,400
定員221～250名	288,000	316,800	276,000	303,600	262,000	288,200	246,000	270,600
定員251名以上	320,000	352,000	304,000	334,400	290,000	319,000	276,000	303,600
特殊附帯工事	12,480							
設計料加算	総事業費の5%							

※都市部とは、助成決定年度又はその前年度における4月1日現在の人口密度が、1,000人/㎢以上の市町村をいう。

※特殊附帯工事とは、資源有効活用整備(ソーラーの整備を含む)及び消融雪設備整備に要する経費である。

※幼稚園耐震化促進事業については、耐震診断費として、1㎡あたり2千円を加算する。

※豪雪地帯対策特別措置法第2条第2項の規定に基づき指定された特別豪雪地域に所在する場合は、A地域基準額を適用し、さらにその定める方法により算定された基準額に対して、0.08を乗じて得られた基準額を加算すること。(小数点以下切捨て)

＜解体撤去工事、仮施設設置整備工事＞

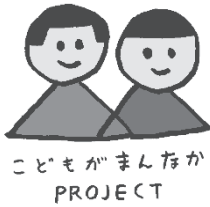
(単位:千円)

	基準額(1施設当たり)			
	解体撤去工事		仮施設設置整備工事	
	標準	都市部	標準	都市部
定員20名以下	1,640	1,804	2,920	3,212
定員21～30名	1,860	2,046	3,564	3,920
定員31～40名	2,480	2,728	4,320	4,752
定員41～70名	3,120	3,432	6,000	6,600
定員71～100名	4,400	4,840	9,000	9,900
定員101～130名	5,280	5,808	10,800	11,880
定員131～160名	6,600	7,260	13,500	14,850
定員161～190名	7,920	8,712	14,760	16,236
定員191～220名	9,240	10,164	17,220	18,942
定員221～250名	10,560	11,616	19,680	21,648
定員251名以上	11,880	13,068	22,140	24,354

○認定こども園事業費

(単位:円)

年齢区分	基準額(1人当たり月額)	
	保育所型幼稚園機能部分	幼稚園型保育所機能部分
4歳以上児	13,000	18,000
3歳児	13,000	22,000
1・2歳児	—	57,000
乳児	—	107,000



「こどもがまんなか」が

サステイナブル（持続可能な）社会を作る

「こどもがまんなかの実現に企業が関わることの意味」

岡山 慶子

サステイナブル社会実現のための4つの事項

サステイナブルとは、国連の「環境と開発に関する世界委員会」の最終報告（1987年）の中で持続可能性や持続可能な発展について世界に広く打ち出され、今や国家運営や企業経営や地域活動のみならず、社会の方向性を示すあらゆる分野の進むべき方向性に大きな影響を与える

キーワードとなりました。サステイナブル社会実現のためには、次のことが大切だと考えられています。

1. 自然と環境 人々の幸せ、適正な経済の発展の3つが調和すること
2. それが現在のみならず将来に渡って、また世界中で可能になること
3. 行政、教育、企業、市民が連携すること
4. これらを地域で実現すること

なぜ教育と企業の連携が必要なのか

私がサステイナブル、あるいはサステイナブル・ビジネスという言葉に関心を持ったのは2002年頃から訪れている米国ウエストミシガン州グランドラピッツ市との出会いからです。

市長のジョージ・K・ハートウェルはサステイナブルな地域のあり方として教育機関と行政、企業が連動していくという考え方を基本とし、良質な教育のサポートをするところが地域活動の将来への正しい発展となると考えています。何回目かのグランドラピッツ訪問の際に市長に「なぜ教育と企業の連携も必要なのか。」と尋ねたところ、市長から「例えば子どもたちに、何が安全で環境に良く、体に良いかということを教育することは、将来そのことを学んだ子どもたちが大人になったときに、サステイナブル社会を理解した企業人や消費者や社会人として育つことに繋がっている。その教育をサポートすることは企業にとって社会的責任であるのみならず、同時に企業の発展にとっても大切なことで

ある。」と同時に教育を預かる行政にとっても大切なことである。」という明快な返答がありました。

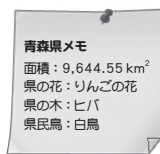
共通の価値を作りだす からこそ持続可能な社会

教育と企業との連携は日本においてはこれまで不安や不信があったことは否めません。しかし今や、発展する企業は社会で良心的であることが求められ、社会的責任（corporate social responsibility ≡ CSR）を果たす事が最も重要なこととして認識されています。最近では更に企業は社会的責任を果たすだけでなく、社会の中で色々なところと連携しながら、必要でかつ重要な価値を作りだす存在となっています。「共通価値の創造（Creating Shared Value ≡ CSV）」

「こどもがまんなか」社会を行政、教育機関、企業が共通の価値として、作りだすからこそ持続可能な社会づくりであると考えられます。

（朝日エルグループ会長）

りんごでおもてなし



豪雪に見舞われた昨冬に続き、今冬も青森県内各地で積雪が多く、特に津軽地区の各園では連日雪との闘いでした。

昨年10月19・20日の2日間、第27回東北地区私立幼稚園教員研修大会を弘前市において開催いたしました。東日本大震災のため第26回は中止を余儀なくされましたので、今大会は被災地の復興を願い寄り添う気持ちと絆を深めるべく、大会を目標に臨んだ次第です。

当日はたわわに実ったりんごが皆さんをお迎えしました。今回、「地域から保育をデザインする(街歩きワークシヨップ)」の分科会を設け、保育との関連に取り組んでみた点は新しい試みであったと思います。

全体会において岩手、宮城、福島 の団体長より被災地からの報告をいただきました。私自身、一昨年暮れに3県の被災された幼稚園に「りんごの願いを届けよう」く青森りん

ごを子どもたちへへのキャラバン隊の一員として訪れ、津波被害の光景に胸を痛め言葉を失いましたが、園児たちの喜びの声を聞き、かえってこちらが元気を貰ったことを思い浮かべながら聞き入りました。長期化する復旧活動、子どもたちの心のケアの難しさ、そして目に見えない放射能の恐怖等。「普通の幼稚園生活」に戻るにはまだまだ厳しい状況があることを改めて知りました。しかし同時にそのような中で保育に打ち込む先生方の日々の努力、熱意を強く感じました。

訪問した被災園の子どもたちの笑顔に出会い、東北大会で先生方と再会を喜び、りんごを通して新しい「絆」をいただいた「今」、私たちにできることは何かを互いに問い、仲間意識を高めたいものです。

(青森県私立幼稚園連合会副会長、北津軽郡板柳町・つきかげ幼稚園／大屋俊孝)

年が明け、新学期が始まった1月8日の午後、お茶の水女子大学名誉教授の内田伸子先生をお招きして、香川県私立幼稚園連盟の「新年の集い」研修会が香川県教育会館ホールで開催されました。香川県は日本で一番小さい県ですが、そのことは全県を対象とした研修会を開催しやすいというメリットともなり、また新学期早々で多くの園が午前保育だったこともあり、香川県内の私立幼稚園のほぼ全教員が参加しました。

内容は「子ども中心の保育の原理『子どもの創造的想像力を育む保育者の役割』子どものからだこころ・あたまの発達に寄り添う援助」という演題のもと、最新のデータと知見に基づいたお話しと、堀合文子先生のお茶の水女子大学附属幼稚園における実践についてのお話を伺うことができ、とても内容の濃い研修でした。

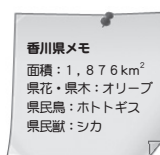
香川県私立幼稚園連盟では、全教員を対象とする研修会としては、上記の新年研修会をはじめ、3月と6月に一般研修会、10月には、香川県内の全私立幼稚園を休園して、担当園の公開保育を中心とした教育研究大会を開催しています。

また、園長・設置者を対象とした研修会を毎月開催しており、平成24年度から香川県私立幼稚園連盟の坪井理事長が、全日私幼連の政策委員長であることから、毎月、中央の最新の情報による研修を受けることができるという恵まれた環境になっています。

民主党政権下での幼保一体化議論の中で、幼稚園と保育所の内容の差がいまいちになってきたように思えますが、教員研修のさらなる充実によって、幼児教育の質を向上させることがこれからの私立幼稚園の重要な課題ではないでしょうか。

(香川県私立幼稚園連盟副理事長、高松市・のぞみ幼稚園／櫻村文夫)

香川私幼の教職員研修



香川県からのおたより

編集

後記

新年を迎えた、
 と思っている間
 にもう3月。年
 長の子どもたち
 が卒園する季節を迎えました。卒園
 していく子どもたちが園で過ごした
 3年間を振り返る時、幼稚園を取り
 巻く政治的な動きの変化の大きさを
 痛感せずにはいられません。私が大
 学まで過ごした学校生活は、特に
 「教育」を意識していなかったから
 でしょうか、何となく安定していた
 ように思います。ところが現在、幼
 稚園という教育現場に関わってみ
 ると、「教育」は意外にも不安定で、
 外からの影響をかなり強烈に受ける
 ものだと知りました。水面を漂う枯
 葉のようだ、というといひ過ぎかも
 しれませんが、それに近い感覚を覚
 える毎日です。でもこのままでは、
 子どもたちにとってよい環境として
 の幼稚園であるはずはありません。
 『幼稚園教育要領』には、「よりよい
 教育環境」「安定した情緒」「心身の
 調和のとれた発達」といった言葉が
 並んでいます。教育現場には、何よ
 り「安定」が求められています。心
 地よい、安定した春風が吹くことを
 望みます。
 (調査広報委員長・西谷正文)

私幼時報をぐ活用ください

「私幼時報」は全日本私立幼稚
 園連合会および財団法人全日本私
 立幼稚園幼児教育研究機構の月刊
 誌として加盟の幼稚園に毎月お届
 けしております。

私幼時報は、全日私幼連、財全
 日私幼研究機構の会議報告の他
 に、「視点」「免許状更新講習・認

定一覧」や「こどもがまんなかブ
 ロジェクトの取り組み」など、園
 長先生だけでなく教職員の方や保
 護者の方にも読んでいただけるよ
 うな誌面も設けております。

ぜひ、皆様で私幼時報を閲覧し、
 ご活用くださいますようお願い申
 し上げます。(調査広報委員会)

平成25年度（第2回）免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
山形県 山形市	当講習は、一人一人の教師の力量を高めるため「保育現場での質を高める」「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり返り、また、園内研修や保育者間の関係、実践研究の取り組み・まとめから、保育内容の充実に向けた応用力を養うことを目指している。その他、保護者との円滑な関係の構築等、他機関との連携・協力についても具体的に学ぶこととしている。事例発表やグループ討論などを交えた講習を行う。	田澤 里喜（玉川大学教育学部 乳幼児発達学科 助教、学校法人田澤学園 東一の江幼稚園 非常勤教務主任）	6時間	平成25年5月19日	50人	平25-81340-51791号
愛媛県 松山市	保育ニーズの多様化に伴い、幼稚園教諭に対する期待は今まで以上に高まっている。その期待に応えていくため、今、あらためて幼稚園教諭に必要な資質とは何かを考える。また、幼稚園教諭自身の“折れない心”を柱とし、自己教育力、保育者としての自信（保育者効力感）、仕事のやりがいの関係性について学びとともに、保育の質についても見つめ直す。	川村 高弘（前 愛媛女子短期大学（現 環太平洋大学短期大学部）副学長、くらしき作陽大学子ども教育学部 准教授） 橋本 正巳（兵庫教育大学大学院客員 教授）	6時間	平成25年8月5日～ 平成25年8月6日	50人	平25-81340-51792号